

実践⑦ 始良市立中央図書館

1 はじめに

始良市立中央図書館は、平成9年3月に始良町立図書館として開館し、平成22年3月の合併により現在の館名に変更し、今年で14年目を迎える。

館内には、児童書や一般書、新聞、雑誌、郷土資料、視聴覚資料など、蔵書冊数17万冊（令和5年4月現在）を超える公立の図書館である。子どもの読書活動推進のための方策として、「始良市で生まれ、成長していく子どもたちが多様な資料と出会い、知的刺激を受けて、自分を見つめ直したり、触発されたりして、希望ある未来を膨らませる図書館」を運営方針の一つとして取り組んでいる。

2 子どもの読書活動を推進する取組

(1) ブックスタート事業

すべての赤ちゃんのまわりで、絵本を介した楽しく温かいひと時が持たれることを願い、毎月3か月児を対象に、ブックスタートパックを配布している。その後の図書館利用につながるよう、おはなし会、本の紹介、利用申込書を同封している。

(2) おはなし会・おはなしだっこの会

乳幼児及び児童を対象に、図書館職員やボランティアグループによるおはなし会を月3回開催し、子どもが読書に親しめる場を提供している。

(3) 出前読み聞かせ事業

小・中学校、幼稚園、保育所からの依頼により、出前の読み聞かせを実施し、子どもが読書に楽しめる時間を提供している。令和5年度は、小学校の図書委員に向けた読み聞かせ講座（選書・読み方・本の持ち方など）も実施した。

(4) 夏休みお話会

子どもの読書への興味・関心を高め、読書啓発・推進を図り、改めて読書の楽しさや「読み聞かせ」の大切さを感じてもらう機会とすることを目的に開催している。令和5年度は、2階にある視聴覚室において大型スクリーンへ投影させた絵本の読み聞かせやクイズなどを行い、館内でお化け屋敷を開催した。



【夏休みお話会】

(5) 夏休み図書館講座

始良市内の小学生を対象に、夏休みの課題や自由研究に役立つ講座を実施し、学習機会の提供及び図書館利用の推進を図ることを目的に講座を実施している。令和5年度は、工作教室、理科教室、読書感想文教室を開催した。



【読書感想文チャレンジ講座】

(6) 図書館司書体験

図書館機能を理解し、図書館利用意欲の向上、読書活動の推進を図るために市内の小学校6年生を対象に「図書館司書体験」を実施し、小学生が本や図書館に親しむ機会を提供している。



【小学生1日司書体験】

(7) 子ども読書活動推進事業「ものがたりレシピをいただきます」

小・中学校や給食センターと連携し、絵本の物語に出てくるメニューや食べ物を給食で取り入れ、同時に関連する「本の紹介」や「読み聞かせ」を行うことで、子どもたちに新たな本との出会いや読書（本）は身近で楽しいものと感じる機会を提供している。



【三船小学校での取組】

(8) 図書館フェスティバル

図書館を利用する機会となり、交流の場、知的刺激を受ける場、生きがいを高める場、余暇の場となることを目的として図書館フェスティバルを開催し、子どもから大人まで楽しめる図書館のイベントとして、ビブリオバトルやクイズラリー、創作活動を行っている。



【クイズラリー】

(9) 巡回図書事業

移動図書館車「あいあい号」で保育園、幼稚園、小中学校を巡回したり（令和5年度29か所）、各施設を対象とした巡回図書（令和5年度22か所）を実施したりして、図書館に出向くことができない子どもたちへの読書活動を推進している。

(10) 啓発広報事業

各季節（年4回）に、小学生を対象にした「図書館こどもだより」や、中・高校生向けの「YA（ヤングアダルト）だより」を発行し、季節や話題にそった本の紹介や新着本の紹介を行い、読書啓発や読書推進を図っている。

3 おわりに

子どもたちと多様な本を結び付ける読書活動の拠点として、図書資料の充実を図り、図書館行事の充実、学校でのさまざまな読書活動への協力・支援活動に取り組んできた読書推進活動が評価され、「令和5年度子どもの読書活動推進優良図書館」の表彰を受けることとなった。受賞を励みとして、今後も、学校・家庭・地域・幼稚園、保育所、子育て支援施設などと連携を強化し、親子読書や家読の推進を図り、意図的・積極的な、児童図書及び各世代のニーズを踏まえた図書の収集、整備、充実に努め、市民にとって心地よい居場所としての図書館となれるよう取り組んでいきたい。